

JENESYS2.0

韓国高校生訪日研修団 3 団

訪問日程 平成 26 年 1 月 8 日(水)～1 月 14 日(火)

1. プログラム概要

JENESYS2.0 の一環として、韓国国立国際教育院が選抜した韓国高校生訪日研修団第 3 団の 49 名が、1 月 8 日から 1 月 14 日までの 6 泊 7 日の日程で訪日し、研修を行いました(第 3 団団長:金相敦(キム・サンドン)全南高等学校校長)。

一行は、「日本を感じる」というテーマの下、滞在中はホームステイや奈良での高校訪問を通じた交流、日本の伝統文化体験などを通じて日本の魅力を体感しました。

2. 日程**1 月 8 日(水)**

到着 (羽田空港)、オリエンテーション

1 月 9 日(木)

講義、歓迎昼食会、浅草見学、スカイツリー見学

1 月 10 日(金)

学校訪問(関東国際高等学校)、お台場エリア見学

1 月 11 日(土)

奈良へ移動、東大寺見学、ホームステイ対面式

1 月 12 日(日)

ホームステイより集合 (夕方)、歓迎交流会

1 月 13 日(月)

奈良市内見学 (元興寺、奈良町散策、興福寺、春日大社ほか)

1 月 14 日(火)

関西空港より帰国

3. 写真



(日本語) 1月9日 講義(都内) 日本文化理解

(母国語) 1월 9일 강의

(제목 / 일본문화 이해) (도내)



(日本語) 1月10日 関東国際高校訪問(都内)

(母国語) 1월 10일

KANTO 국제고등학교 방문(도내)



(日本語) 1月10日 関東国際高校訪問(都内)

(母国語) 1월 10일

KANTO 국제고등학교 방문(도내)



(日本語) 1月10日 関東国際高校訪問(都内)

(母国語) 1월 10일

KANTO 국제고등학교 방문(도내)



(日本語) 1月10日 関東国際高校訪問(都内)



(日本語) 1月11日 東大寺見学(奈良市)

(프로그램概要報告フォーマット)

<p>(母国語) 1월 10 일 KANTO 국제고등학교 방문(도내)</p>	<p>(母国語) 1월 11 일 TODAIJI(동대사) 견학 (나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月11日 東大寺見学 (奈良市)</p>	<p>(日本語) 1月11日 ホストファミリーとの対面 (奈良市)</p>
<p>(母国語) 1월 11 일 TODAIJI(동대사) 견학 (나라시)</p>	<p>(母国語) 1월 11 일 민박가족과의 대면(나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月12日 交流会 (奈良市)</p>	<p>(日本語) 1月12日 交流会 (奈良市)</p>
<p>(母国語) 1월 12 일 교류회(나라시)</p>	<p>(母国語) 1월 12 일 교류회(나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月13日 元興寺見学 (奈良市)</p>	<p>(日本語) 1月13日 奈良町散策 (奈良市)</p>
<p>(母国語) 1월 13 일 GANGOJI (원흥사) 견학(나라시)</p>	<p>(母国語) 1월 13 일 나라마치(奈良町 / 옛모습 거리) 산책(나라시)</p>



(日本語) 1月13日 奈良町散策 (奈良市)

(母国語) 1월 13일

나라마치(奈良町 / 옛모습 거리) 산책(나라시)



(日本語) 1月13日 春日大社見学 (奈良市)

(母国語) 1월 13일

카스가 타이샤(春日大社) 견학(나라시)



(日本語) 1月13日 春日大社見学 (奈良市)

(母国語) 1월 13일

카스가 타이샤(春日大社) 견학(나라시)



(日本語) 1月13日 興福寺 (奈良市)

(母国語) 1월 13일

KOFUKUJI(흥복사) (나라시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイについて

- ・お金を払っても体験することのできないような価値ある思い出となった。
- ・初の海外旅行で、慣れないことだらけの自分にホストの方が寛大に接してくれ、最高のおもてなしをしてくれたことが今回の研修中で一番幸せだった。
- ・ホスト家族と一緒に生活をしながら、自分が日本人になって日本の家に住んでいるような感覚が新鮮だった。
- ・日本と韓国の家庭と比較するいい機会になった。
- ・お客様としてではなく、家族の一員として受け入れてくれて幸せだった。
- ・とても温かく迎え入れてくれた。
- ・ホストファミリーと新たな縁を結べてよかった。
- ・言葉は通じなかったけれど、自分たちがやりたい事を、できるだけ体験させてくれようとしてくれた。

○日本の学校、学生との交流について

- ・みな優しく、楽しませてくれようとしてくれたのですぐ親しくなれた。
- ・別れ際に涙を流してくれる学生がいて、嬉しかった。
- ・短い時間だったけれど、一緒に笑い、語り合い、ご飯を食べながらお互いを理解し、共感することができた。
- ・解放的で、未来的、進歩的な考えと意見を持った生徒達との交流は有意義だった。
- ・韓国人の学生を歓迎し、よろこんで受け入れてくれ、沢山の関心を寄せてくれて嬉しかった。
- ・国が違っても通じ合い、言葉が通じなくてもお互いに似ている点が沢山あったので不便を感じなかった。
- ・交流後に交換したメールアドレスに、日本人の学生からメールが届いた時は、とても感激して空を飛んでいるような気分になった。
- ・長くはない交流時間を友好的に使おうとする日本人学生の姿に感動した。

○伝統、文化、自然に関して

- ・先進的な部分と、伝統的な部分が上手に調和されていると文化だと感じた。
- ・自国の文化を愛し、その文化を守るために積極的に力を注いでいると感じた。
- ・見学地(寺・神社)で正しい参拝方法や、由来を聞くことができてとても勉強になった。

○人間性について

- ・日本人の親切さに心から感動した。
- ・些細なことまで気遣いを忘れない態度に感動した。
- ・ルールをきちんと守り、礼儀正しい。
- ・優しくて、他人を思いやる気持ちなどから、日本が先進国と呼ばれる理由がよく分かった。
- ・日本人の国民性の高さに驚いた。
- ・高校生にも礼を尽くしてくれたことに驚いた。
- ・日本人の人間性が、韓国の経済より日本の経済が先行している要因だと思った。
- ・日本人の秩序意識の高さにとても驚いた。(エレベーターにきちんと並ぶ、電車の中での携帯使用禁止、信号無視をしない、道にゴミを捨てないなど)

○その他

- ・この研修が自分自身を変えたように、自分が周りの人を変える始発点の役割となり、日韓両国の関係に大きな力になりたいと思った。
- ・研修を通じて、これまで自分が日本を見ていた視野が、とても狭いものだったことを反省した。
- ・道にゴミが落ちてなくてきれいだった。
- ・日本と韓国が、偏見を持たず、お互いに愛し合い、許しを請い、許しながら他国よりももっと友好的で友達のような国になればいい。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・今回の研修で実際に見て体験したことを話したい。
- ・日本人は親切で礼儀正しく、韓国人が見習うべき点だと伝えたい。
- ・韓国人に対して友好的だった人達、日本人の礼儀正しい態度と生活風景を伝えたい。
- ・何の理由もなしに日本人に対して、悪い感情を持つべきではないということ。